

『薬剤相互作用に注意を

C 型肝炎治療経口薬投与時にも

薬剤師の関わりが重要』

肝臓川柳



『併用薬 即座にチェック 医師安心』役に立つ

(へいようやく そくざにちえつく いしあんしん)

.....ノノノノノ

複数の薬剤を併用した場合に、薬の効果が弱くなったりあるいは強くなりすぎたりして、問題になることがあります。

多いのは、同じ酵素で代謝されるため、酵素が不足し薬剤が分解されず血中濃度が上がり副作用が強くなることです。

C型肝炎経口治療薬の“ヴィキラックス”には、“リトナビル”という

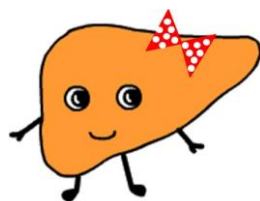
薬剤酵素の1つCYP3Aに非常に親和性が強い成分が入っており、

同じ薬剤酵素(CYP3A)で代謝される薬を併用するとその薬の血中濃度が上がり、

副作用を起こす恐れがあるため、治療前に併用薬の厳密な確認が必要です。

事前に全ての併用薬をチェックし、必要な場合は併用薬を中止したり、変更したりする必要がありますが、薬剤師のかかわりが非常に重要です。

当院では、薬剤師が併用薬確認フローを独自に作成し、厳重に併用薬チェックをして対処しており、診療するDrは大変助かっています。



きもこ

これだけ覚えておけば損はない!

今回のポイント

C型肝炎経口治療薬のヴィキラックス使用時には、併用薬のチェックが重要
複数の薬剤を併用した場合には、副作用が強くなることもある。

事前にすべての併用薬のチェックが必要である。

(文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫)